

虹の夢 さらに一〇〇年 七色区

収集車 ぼくもうたうよ 愛の街

公平さ 円筒分水に 教えられ

のぞいたら かわさきまるで まんげきよう

ストリート 好きを極めて アスリート

ふと思う 川を越えると ただいまと

京浜の 夜空かがやく 工場灯

つぎの一〇〇 ふたたび刻む 時計塔

一〇〇周年 わたしも生きたい 川崎と

甥っ子が 喜ぶ音色 南武線

等々力で オーレの響き たまらない

百年の 時を重ねて 次の色

どんぐりを 見つけに行こう 等々力緑地

血が騒ぐ 一年一度の 山王祭

お大師の 飴切る音が 春風に

未来へと エール奏でる ミューザの音

検定を 毎年受ける かわさき愛

待ち合わせ ハチ公よりも カマキリ像

知恵詰まる 温故知新の 民家園

工場夜景 昔は父と 今は子と

川崎は SF(少し不思議)な 未来都市

甘さよし 大きさ驚く 多摩川梨

多様性 あなたとつくる カラフルに

梅かおる 春の訪れ 御幸公園

一〇〇周年 かわさきに咲く 笑顔の花



かわさき
いろいろ
5・7・5

川崎愛があれば季語は不要の「かわさきいろいろ5・7・5」。
「次の100年に向けて」をテーマに、川崎のよいところ・好きなところを
詠んでいただいた6,000点を超える応募作品の中から一部を紹介！
17文字からあふれだす川崎愛は無限大です。あなたの好きな5・7・5はどれですか？

新庁舎 光包まれ 一〇〇周年

なつかしき 時計塔見ゆ 新庁舎

子供たち いつも元気 いい町に

予想以上 羽田すぐそこ 臨海部

かわさきの 未来を創る エコアクション

どこへでも どこでもドアで ひとつ飛び

最短の エスカレーター 最先端

加瀬山の 緑と動物 癒しの地

ニュータantan みんな虜で 腹パンパン

臨海の 海に光るよ 工場夜景

ブレイキン 今から楽しみ パリ五輪

多摩川の 緑まぶしき ランニング

そこかしこ 映画のロケ地だ 川崎市

風鈴市 夏の川崎 風物詩

瓶ビール 傾け語る 初対面

トントコトン 飴切る音で 厄除けだ

夢パーク 子どもの居場所 拠り所

はじめての デートはやっぱり チネチッタ

かわさきに 住んでよかった ありがとう

川崎に とついできたら 楽しくて

「崎っ子」と 自慢したいよ この街を

住み心地 最高過ぎて 半世紀

ラップ踏む 君もおいでよ 川崎へ

工業と 緑の調和 川崎市

街角で 鳴り響くのは ジャズの音



かわさき
いろいろ
5・7・5

お気に入りの5・7・5はみつかりましたか？こちらに掲載した作品以外にも
たくさんの素敵な5・7・5が市ホームページ（HP）でご覧いただけます。
あなたも川崎におもは 想いを馳せながら詠んでみませんか？

川崎市では引き続き「#かわさき575」で5・7・5を募集中！「X」に投稿してください。今後、市の広報物で紹介予定です。



市HP

©Fujiko-Pro

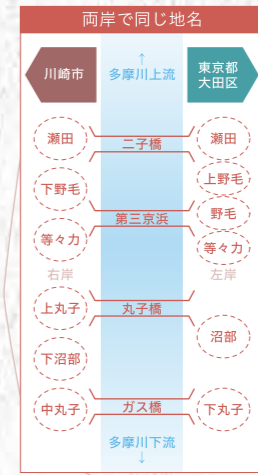
多摩川 Rediscovery Map

過去に思いをはせ、今を楽しむ多摩川ツーリズム

市民の心のふるさと「多摩川」。かつて「玉川」「多磨川」と記され、万葉集にも詠まれたその雄大な姿は、いつも私たちの心を癒やし、楽しませてくれます。しかし歴史を振り返ってみたとき、また別の姿が浮かび上がってきます。江戸時代には五つの渡し場があり、人や物、文化の交流の場としてにぎわい、穀類や木材、砂利運搬として交通の要となっていました。農業用水、生活用水、飲料水としても利用され、ここに暮らす人々にとって、欠かせない存在であった多摩川。その一方、ひとたび大雨が降るとその姿を大きく変え、何度も洪水を繰り返す「暴れ川」となり、家や田畑を押し流し川筋を変え地形をも変化させ、甚大な被害をもたらしました。このような歴史に思いをはせながら、堤防に守られた美しい景観を味わってみると、これまでとは違う景色が見えてくるかもしれません。さあ多摩川へ、今日もぶらりと出かけてみましょう。

兩岸に同じ地名があるのは何故？ 飛び地があるって本当？

川崎と東京に同じ地名があるのを、不思議に思ったことはありませんか？改めて地図を見ると、多摩川の兩岸に同じような地名が点在することがわかります。大洪水によって頻りに流路を変える多摩川に、一つの村の土地が分断されたもので、それほどの大洪水が起こっていたことを物語っています。多摩川が現在の流路に近くなったのは、天正18(1590)年の大洪水によるといわれています。多摩川流域の歴史年表を見ると、近世以降もほぼ毎年のように氾濫・洪水を繰り返していたことがわかります。明治45(1912)年に川の中央が県境と定められましたが、大田区の飛び地が大師橋の少し上流「大師の渡し碑」近くに残されています。同様に東京側の大師橋近くに川崎市の飛び地があります。これも、多摩川が「暴れ川」だった痕跡のひとつではないでしょうか。



羽田空港

下流



多摩川下流域はかつて梨の一大名産地 ここで生まれた「長十郎梨」丈夫で美味しい

江戸時代に始まったとされる、大師地域での梨づくり。明治26(1893)年に当麻辰次郎の梨園(現・川崎区日ノ出町)で発見された新種は、同家の屋号から「長十郎梨」と名付けられました。数年後、梨に壊滅的なダメージを与える黒星病が大流行した折に長十郎梨は無事だったことや、甘みも強く多収穫なため、生産量が関東一となるほど栽培が広がりました。当地では、その後工業化の進行に伴い姿を消しましたが、平成17(2005)年に市民団体による「長十郎の里帰り」イベントが行われ、現在の生産地多摩区から苗木を運び、大師駅前の若宮八幡宮に植樹し大切に育てられています。また、六郷橋のたもとには「長十郎梨発祥の碑」が、川崎大師には「種梨遺功碑」が建てられています。



植樹された長十郎梨の苗木

◎若宮八幡宮:川崎大師駅徒歩3分 川崎大師:同駅徒歩8分 長十郎梨発祥の碑:川崎駅徒歩20分

住民の知恵と 県知事の英断で完成した「有吉堤」



大正3(1914)年、御幸村(現中原区)など4カ村の住民数百人が、氾濫を繰り返していた多摩川の築堤工事を求め県庁へ直訴したのが「アミガサ事件」です。当時集団行動が禁じられていた中、全員が互いの目印に編みかさを被っていたことから名づけられたこの事件。これを契機に、地域の有力者による陳情のみであった多摩川築堤運動が、沿岸町村住民による地域的結合へと大きく発展していきました。

築堤は旧東京府や国の意向により許可が困難であったところ、直訴の翌年就任した有吉県知事は、住民らの訴える「道路改修工事という名目での築堤工事」を断行し、国から処分を受けながらも、現在の上平間から上丸子付近の2km以上の旧郡道を55cmかさ上げした堤を完成させました(現在の多摩川堰堤の西側のバス通り)。でしが上がった堤は知事の名を取り「有吉堤」と名付けられ、現在もその一部がガス橋のたもと中丸子道に残されています(中丸子児童公園内には記念碑も)。

◎中丸子児童公園:武蔵小杉駅徒歩20分、またはバス「市営等々力グランド入口」すぐ

けんか橋の異名があった「ガス橋」

昭和4(1929)年に川崎側の工場から東京へガスを送るためにガス管専用橋として計画されていた「ガス橋」。地域住民の要望を受け、点検用の仮橋を人が往来できるように計画を変更し、昭和6(1931)年に「瓦斯人道橋」となりました。それまで多摩川を渡るには、下流の六郷橋か上流の丸子橋の他は船で渡るしかなかったため、大変重宝されました。しかし、当初の設計段階では人が渡ることを想定していなかったため、最低限の1mの幅しかなく、自転車やリヤカーを引いて渡る人などでたびたび争いが起こり、「けんか橋」の別名もありました。昭和35(1960)年、増大する交通量に対応するため、現在のガス橋に架け替えられました。

◎ガス橋:平間駅徒歩10分



提供:川崎市市民ミュージアム(昭和33年頃)

小土呂橋は、江戸時代に「新川堀」という「二ヶ領用水」の末流を渡るために架けられた橋で、享保11(1726)年に木橋から石橋に架け替えられました。その3年後にはベトナムから幕府に献上されたゾウがこの橋を渡るなど、交通の要所としてにぎわっていました。その後一度洪水で流されたものの再興し、人々の往来に使われてきましたが、昭和6(1931)年、新川堀の地中化とともに小土呂橋も親柱を残し埋められました。このとき近くの民家に引き取られたのが花こう岩製、高さ130cmの立派な親柱です。そして数十年を経て市制60周年記念に、元の場所の小土呂橋交差点脇の歩道に復活を果たしました。

◎小土呂橋交差点:川崎駅徒歩5分



ゾウも渡った！ 小土呂橋の親柱

幻の大運河計画のシンボル 「川崎河港水門」



提供:川崎市市民ミュージアム(昭和41年頃)

古くから水運に利用されてきた多摩川。第一次世界大戦による好景気のなか、川崎市では不足する工場用地の拡大を図るため運河・港湾計画が立てられました。その計画の一環として昭和3(1928)年に完成したのがこの水門です。上部には当時の川崎の名産品だった梨・桃・葡萄をモチーフとした装飾が施され、威容を誇っています。その後社会情勢の変化により、昭和18(1943)年に計画は廃止され、水門だけが残されています。平成10(1998)年に国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。

◎川崎河港水門:鈴木町駅徒歩10分

多摩川の守り神 「水神社」



江戸時代に、大師河原・稲荷新田の鎮守として創建されたといわれる「水神社」。ご神体はかんがい用水の神で、多摩川の守り神とされてきました。境内にある道祖神「乳出地蔵尊」は、子育ての神として地元の人々から信仰を集めており、頭にペールをかぶった異国の雰囲気特徴的です。

◎水神社:川崎バス「殿町二丁目」徒歩4分

上流

多摩川原橋

現在の多摩川

1894-1915年の多摩川

布田

最後まで残っていた渡し「菅の渡し」

昭和10(1935)年に多摩川原橋が開通したことに伴い、利用者が減ったため、翌年、上菅・下菅の渡しを統合してその中間に一本化したのが「菅の渡し」です。現在の「京王相模原線」の橋脚(下流側)の下あたりにありました。対岸の調布にある畑に通う「作場渡し」としての利用が主でしたが、戦後に京王閣競輪場が開設されてからは競輪開催日には大勢の競輪客でにぎわいました。その後、農地の宅地化、人々の自動車の利用、さらに昭和46(1971)年に京王相模原線が多摩川を渡るようになり、利用者が減ったため、昭和48(1973)年に廃止となりました。現在は、多摩沿線道路の脇に「菅の渡し跡」の碑が建てられています。また、当時の船頭小屋は、日本民家園に展示されています。

④「菅の渡し跡」の碑：稲田堤駅徒歩10分
日本民家園：向ヶ丘遊園駅徒歩13分



提供：川崎市市民ミュージアム（昭和41年頃）



提供：さいわい歴史の会（昭和20年代）
川崎河岸駅は、多摩川上流の砂利を運搬するための駅で現在は「さいわい緑道」となっています。

江戸時代からブランド品だった多摩川の砂利。皇居に敷かれているのも、日本で最初の鉄道の敷設にも多摩川の砂利が使われています。大正期には手掘りから機械掘りになったことで、鉄道会社が採掘と輸送に乗り出しました。今では市民の足である南武線もその一つで、当初は「多摩川砂利鉄道」として設立されました。大規模な砂利採掘による河床の低下などからさまざまな被害が発生し、昭和9(1934)年以降、段階的に多摩川での砂利採掘は禁止されました。当時、砂利を運ぶために、宿河原駅と中野島駅から多摩川の砂利採取場まで引き込み線が延びていました。宿河原駅からの引き込み線の線路跡は、線路わきの道路から多摩川に右にカーブしながら向かう道路(図の点線)となっています。

「ジャリ鉄」だった南武線 多摩川の砂利はブランド品



多摩水道橋



提供：川崎市市民ミュージアム（昭和30年頃）

多摩水道橋は、水道管の上に道路が通っている橋として、昭和28(1953)年に完成しました。川崎市長沢浄水場から隣接する東京都長沢浄水場を経由し、都内に水を供給する「水管橋」として、また「登戸の渡し」に替わる「道路橋」としても、重要な役割を担ってきました。その後、交通量の増加などにより新しい橋に架け替えられましたが、配水管はそのまま使用され、都内へ水を送り届けています。また、架け替えに伴い撤去された親柱は、水道橋のたもとにある緑道で、街灯の支柱として第二の人生を送っています。

④多摩水道橋：登戸駅徒歩10分

多摩水道橋

登戸駅

二ヶ領用水

多摩川にほぼ並行して流れる二ヶ領用水は、慶長16(1611)年に竣工した、日本でも有数の古い農業用水です。江戸時代の稲毛領と川崎領の二つの領地にまたがって造られたことから「二ヶ領」の名が冠されました。二ヶ領用水は、平地より低い位置に流れている多摩川の水を引き込む一大事業で、14年間の工事の末に完成しました。二つの領地に網目のように広がるこの用水は、田、畑、果樹畑を潤し、飲み水としても利用され、「二ヶ領」を中心に地域共同体が形成され、川崎市の骨格を作り上げていきました。昭和30年代半ばには、急速な都市化により水質が悪化し、取水が一部停止されることもありましたが、その後下水道の整備や市民の清掃活動などにより、美しい水面を取り戻しました。現在の二ヶ領用水は、農業用水の役目はほとんど終えましたが、都市の中の貴重な水と緑の空間として憩いや安らぎを与え、市民に愛され親しまれています。



日本有数の古い農業用水として、 川崎の礎を築いた歴史のシンボル

水争いを知恵で解決、正確さが自慢の 久地円筒分水



提供：高津ふるさとアーカイブ（昭和16年頃）

江戸時代、二ヶ領用水は「久地分量樋(水門)」によって4つの堀(久地堀、六ヶ村堀など)を通して各地へ水を分けていました。しかし正確な分水ができなかったため、水量をめぐる争いが絶えませんでした。そこで、昭和16(1941)年に造られたのが「久地円筒分水」です。下から吹き上がってくる水を内側の円筒形の樋に取り入れ、水利権に比例して円周比により外側の円筒から分水し、各堀へ正確に用水を供給する技術は、非常に優れた自然分水方式で、平成10(1998)年に国の登録有形文化財に登録されました。

④久地円筒分水：久地駅バス「新平瀬橋」徒歩2分

「多摩川スピードウェイ」跡地 日本初の常設モーターサーキット



提供：多摩川スピードウェイの会（昭和12年頃）

大正9(1920)年、多摩川橋梁の上流側にあった青木根集落が多摩川改修工事のため移転となり、その後昭和11(1936)年に広大な河川敷に作られたのが多摩川スピードウェイです。日本初の常設モーターサーキットで、「第1回全日本自動車競走大会」が開催され、多摩川改修工事で行われた堤防は、格好の観戦スタンドとなっていました。大会は昭和13(1938)年まで続きましたが、戦争の影響によるガソリン統制などで幕を閉じました。堤防のかさ上げと拡幅工事のため、階段状の観戦スタンドも撤去され、また新たな景観を生み出しています。

④多摩川スピードウェイ跡地：新丸子駅徒歩12分

流路が変わって生まれた飛び地に作られた、 巨大な砂利穴の跡地「等々力緑地」



提供：川崎とどろきパーク（株）

現在の等々力緑地は、多摩川の流れが変化して明治45(1912)年に東京府から編入された土地で、当時は桑畑や野菜畑が広がっていました。もともと河床だったため厚い砂利層があり、昭和10(1935)年に東京横浜電鉄(現・東急東横線)が新丸子採取場の操業を開始しました。5年後に採掘を終了しましたが、残された砂利採掘跡の穴に雨水などが溜まり、7つの池ができ、戦後はそこで釣り堀も開業されていました。その後埋め立てられ等々力緑地へと整備されましたが、現在も1つ釣り池が残されています。

④等々力緑地：武蔵小杉駅バス「等々力グランド入口」または「市営等々力グランド前」すぐ

下流

宇奈根

二子玉川駅

新二子橋

瀬田

野毛

等々力

溝の口駅

幸区

川崎駅西口

幸区の区域は、かつて水田を中心とした農村地域でしたが、川崎駅西口地域には明治期に工場の進出が始まり、戦後の高度成長期には公営住宅なども建設され、人口が急増しました。その後、工場の移転が進み、跡地には大型商業施設やオフィスビルが建設されました。

今では世界的な音楽ホールであるミュージア川崎シンフォニーホールや東芝未来科学館、ラゾーナ川崎プラザの他、ホテルなどがある複合型街区「KAWASAKI DELTA (カワサキデルタ)」やライブハウス「SUPERNOVA KAWASAKI (スペルノヴァ カワサキ)」が誕生し、さまざまな魅力とにぎわいのある地域となっています。



西口駅前には、大きな工場があった
写真中央が東芝の堀川町工場



昭和30年頃 提供:東芝未来科学館

旧国鉄の川崎変電所の赤レンガ倉庫
跡地にはミュージア川崎が建設された



平成初期頃

約11.7haの東芝川崎事業所跡地



平成14年 市民提供

ラゾーナ川崎プラザは
平成18(2006)年9月に開業



平成18年 市民提供



令和6年

interview

川崎駅西口には、東芝の堀川町工場と柳町工場、明治製菓などの大きな工場がありました。その頃は、通勤する人波がすごく、雨が降っても傘をさして駅に向かって歩けないほどで、街中の飲食店はいつもにぎわっていました。今ではラゾーナ川崎プラザやオフィスビルなどが建ち並び、多くの

人が川崎を訪れるようになっていきます。まちが大きく変わったのは、「ミュージア川崎シンフォニーホール」が開館したときで、最近では、「KAWASAKI DELTA」や「SUPERNOVA KAWASAKI」ができ、何でもあるまちになりました。今後もさらなるにぎわいを期待しています。



大宮町町内会
会長 中川 さん

川崎区

川崎駅東口

新橋～横浜間に鉄道が開通した明治5(1872)年の6月に、川崎駅は開業しました。多くの工場が川崎に進出したことなどにより、川崎駅は工場で働く人たちをはじめ、多くの人に利用されてきました。
昭和20(1945)年4月の大空襲で、市街地のほとんどが

焼け野原になりましたが、戦後間もなく復興し、昭和30年代には駅ビルが誕生、昭和40年代初めに京浜急行線が高架化されています。その後も整備が進み、官公庁や商業施設などが集まり、東海道川崎宿といった歴史や文化、産業文化財など魅力が残るまちとして発展を続けています。

写真左上の三角屋根が川崎駅(駅ビルができる前の姿)
手前を走るのは京浜急行線



昭和31年頃
提供:川崎市市民ミュージアム

完成した駅ビル
まだ京浜急行線が高架化されていない川崎駅東口



昭和30年代後半
提供:川崎市市民ミュージアム

当時、歩行者は駅中央口からバス乗り場などへ地上を横断できず、アゼリア地下街を通行していた



平成初期頃



昭和41年
提供:川崎市市民ミュージアム

開発が進んだ現在の姿
左がJR川崎駅、右が京浜急行線



令和4年

interview

かつては小さい駅でしたが、中学生の時に駅ビルができたのをよく覚えています。この頃は、高い建物がなく、駅前から塩浜への市電が出ていて、今の川崎DICE(ダイス)のあたりからはトロリーバスが出ていました。
高度成長期には、さまざまなところから多くの

労働者が来て、にぎやかなまちでした。今では、開発が進み川崎駅周辺はさらに良くなりました。これからは、より広い範囲で人が回遊できるようにしていきたいです。そのためには、周りを巻き込んでつながりやムーブメントをつくること、発信力を高めることが大切だと感じています。



川崎駅広域商店街
連合会 会長 鬼塚 さん

駅から見る川崎「史」

いつの時代も人々の暮らしの中心にあるのが駅。各区の主要な駅をピックアップし、懐かしい姿と、当時の貴重なお話しとともに振り返ります。

中原区

武蔵小杉駅

中原区の名称は、江戸時代に、中原御殿（平塚市）と江戸を結ぶ中原街道の中継地としての仮御殿が小杉にあったことに由来しています。

等々力緑地、多摩川沿いの緑や二ヶ領用水の水辺、井田山などの自然に恵まれるとともに都心への交通利便性に優れています。

武蔵小杉駅周辺は、平成以降、駅周辺のグラウンドや工場跡地がマンション用地となるなど、再開発が一気に進み、今では都市型住宅が立ち並ぶとともに、企業の研究・開発部門などの都市型産業が集積する他、商業もにぎわう地域となっています。

東急東横線武蔵小杉駅



昭和36年
提供:東急株式会社



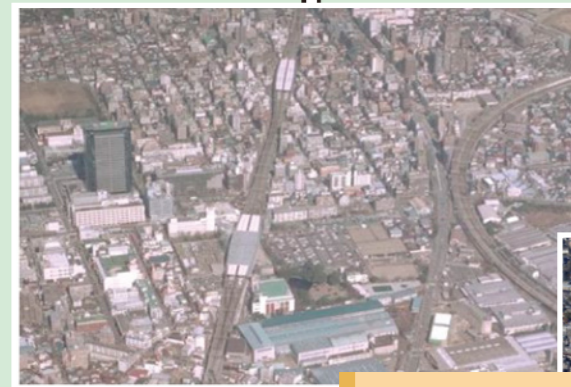
中原支所(現中原区役所)近く
府中街道を南武線が通過している

昭和40年頃 提供:川崎市市民ミュージアム

武蔵小杉駅前のビルから東方向を望む
東急東横線の手前が武蔵小杉駅北口バスロータリー

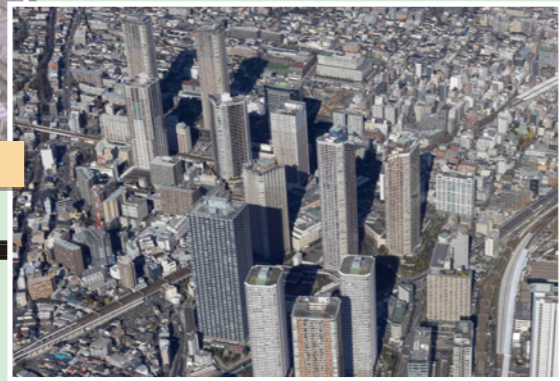


昭和41年
撮影:羽田猛氏



平成12年

武蔵小杉駅周辺の変遷



令和6年

interview

戦時中は、島根県に疎開していて、高校1年生の時に川崎に戻ってきました。当時、小杉は田舎で田んぼや畑がありました。駅の周辺には工場や企業のグラウンドがありましたが、その跡地にタワーマンションが建ち、若い人が増えたことは、うれし

いことです。交通の利便性の高さは武蔵小杉の財産で、人気のあるまちになりました。住んでいる人に愛着を持ってもらいたいという思いで、丸子の渡し復活イベントや子どもが楽しめるお祭りなどを企画しています。



新丸子東2-3丁目親和会
会長 尾木孫三郎さん

幸区

鹿島田駅

鹿島田駅は、南武鉄道が開業した昭和2(1927)年に開業しました。戦前は、軍需産業の拡大に伴い、市内に工場が建てられ、鹿島田駅は近くの工場や新鶴見操車場で働く人に利用されるようになりました。高度成長期後、工場の移転が進み、跡地には多くのマンションやオフィスビルが建設されました。新鶴見操車場跡地には、

「新川崎・創造のもり」をはじめ、研究施設が建設された他、企業の進出、マンションの建設が進んでいます。

都市化が進む中で、新川崎駅の西側の「加瀬山」には、市内唯一の動物園である夢見ヶ崎動物公園があり、歴史にも触れられる地域住民の憩いの場となっています。

東洋一と言われた新鶴見操車場



昭和38年頃 提供:川崎市市民ミュージアム

左側が新鶴見操車場
中央下の日立製作所の右側に南武線



昭和55年撮影

地上にあった駅舎



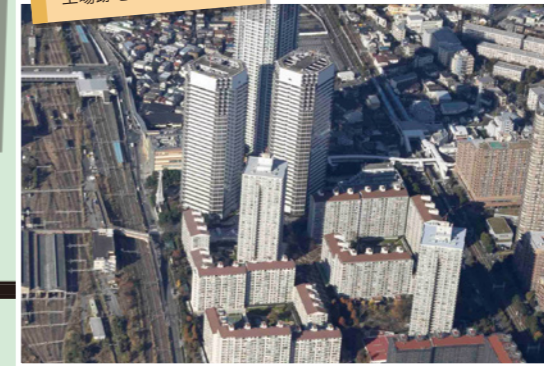
昭和63年
撮影:森田良和氏

鹿島田駅前の踏切
奥が日立製作所



昭和56年
撮影:羽田猛氏

工場跡地のマンション



令和4年

橋上駅舎につながる
ペDESTリアンデッキ



令和6年

interview

鹿島田駅近くには、新鶴見操車場や日立工作機川崎工場(後の日立精工)など、大きな工場があり、活気がある地域でした。そのため高度成長期に鹿島田には映画館が3つもあり、当時大ヒットしていた洋画の看板が印象に残っています。私の親の世

代が子どもの時には、数軒の家しかなかったようですが、今では、工場の跡地などにマンションが建設され、多くの人が住むとともににぎやかな住宅地になっています。地域のイベントに若い人も参加してくれて、つながりづくりも広がっています。



エリアマネジメント組織
鹿島田デイズ
代表幹事 村石修さん

宮前区

鷺沼駅



多摩丘陵の一角に位置する宮前区内には、平瀬川、矢上川、馬川の3つの河川が流れています。宮前区はこれらの川に挟まれた、丘陵、坂、谷戸などで構成された起伏に富んだ地形が特徴です。昭和41(1966)年に溝の口駅と長津田駅の間に東急田園都市線が開通。また、昭和43(1968)年に東名高速道路・東名川崎イ

ンターチェンジが開通・開設するなど交通基盤の整備とともに、郊外住宅地としての開発が進みました。鷺沼駅周辺地区は、駅前広場の再整備などによって、駅を中心に商業、住宅、文化・交流など多様な都市機能の集積と交通の利便性の強化に向けた取り組みが進められています。

建設中の鷺沼駅



昭和39年 撮影:石井力氏

大盛況の鷺沼プール



昭和43年 提供:川崎市市民ミュージアム



昭和41年 提供:東急株式会社



昭和43年 提供:川崎市市民ミュージアム 駅からプールに向かう人

鷺沼駅周辺

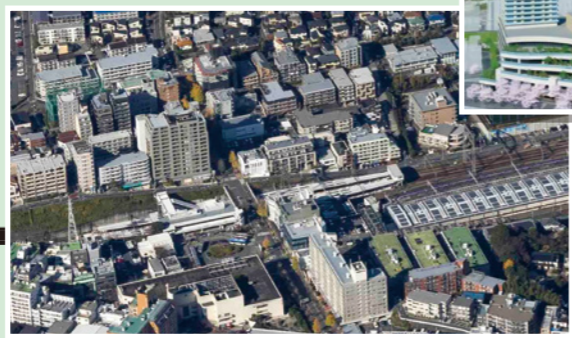


昭和40年代 提供:さぎ沼商店会

ほぼ同じ場所から撮影



令和6年



令和4年



完成予想パース(令和5年10月時点) 提供:鷺沼駅前地区再開発準備組合 ※今後、事業推進により変更になる可能性があります。

interview

鷺沼プールはものすごくにぎわっていました。プールが営業している時期には、電車に乗って市外からも多くの人々が来ていました。鷺沼駅ができた頃は、数軒しか家がありませんでしたが、多くの戸建てやマンションが建つようになりました。閑静な住宅街で、若い人も多く移り住んでいます。安全で安

心なまちであるよう日頃からつながりを大事にしています。春には桜祭り、秋には神社のおみこしなどを出し、いろいろな方が参加できるイベントを行っています。これから再開発があり、区役所や市民館、図書館が移転してくるので、さらににぎやかで住みやすいまちになっていくと期待しています。



鷺沼町会 会長 持田和夫さん

高津区

武蔵溝ノ口駅・溝の口駅

高津区は、二ヶ領用水の流れる平坦地と、多摩丘陵の一角を形成する丘陵地で形づくられ、豊かな水辺空間と起伏ある地形が特徴です。溝ノ口駅北口周辺は江戸時代に大山街道沿いの宿場町としてにぎわい、今でも多くの人々が交流し、商業が栄えています。市街地の発展は、昭和初期に玉川電気鉄道溝ノ口線(現・東急田園都市線)と南武鉄道(現・

JR南武線)の開通を契機として始まり、戦後は、宅地・マンションの開発や溝ノ口北口地区の再開発などの都市基盤の整備が進められました。溝ノ口周辺では、脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」として、企業や市民の皆さんが連携し、さまざまな取り組みが進められています。

国鉄武蔵溝ノ口駅前



昭和30年代 提供:川崎市市民ミュージアム



昭和40年代 提供:川崎市市民ミュージアム

東急線の当時の駅名「[の]」ではなく「ノ」と表記していた



昭和40年 提供:東急株式会社



東急溝の口駅から南武線改札方面を眺める 写真右側は南武線線路



昭和43年 提供:高津区ふるさとアーカイブ

橋上駅舎化される前の武蔵溝ノ口駅



平成5年頃 提供:高津区ふるさとアーカイブ



提供:高津区ふるさとアーカイブ

再開発工事中の駅前



令和6年

interview

東急溝の口駅も、JR武蔵溝ノ口駅も、平成9(1997)年にペDESTリアンデッキができるまでは、地上に駅舎がありました。南武線沿いの道を通り換え客が行き交う風景を覚えています。 当時も駅前の商店街はにぎやかでしたが、商店街の中に大型スーパーができ、その後、再開発で

NOCTY(ノクティ)が開業し、駅舎が橋の上に建てられ、ペDESTリアンデッキができてから、人の行き来がさらに活発になりました。駅前近くにあった工場は、大きなマンションや学校になり、風景はすっかり変わりましたが、まちのにぎわいは、昔も今も変わりません。



溝ノ口駅前商店街振興組合 理事長 持田知介さん

麻生区

新百合ヶ丘駅

昭和2(1927)年に小田急線の柿生駅が開設され、その後、昭和49(1974)年に新百合ヶ丘駅が誕生するとともに小田急多摩線が開通しました。新百合ヶ丘駅周辺地区には行政機関、大型商業施設、病院などの都市機能が集積し、市北部における広域拠点として機能強化が図られてきました。

麻生区は、里地・里山など自然が豊かで、黒川、岡上、早野の農

業振興地域や、大型農産物直売所「セレサモス麻生店」があるなど、農業資源にも恵まれています。

芸術・文化のまちづくりが進められ、大学や施設が集積し、年間を通じて、市民の手によるさまざまな芸術・文化のイベントなどが開催されています。

建設中の新百合ヶ丘駅



昭和48年頃 提供:麻生区写真アーカイブ

奥は開業したばかりの新百合ヶ丘駅南口



昭和49年 提供:麻生区写真アーカイブ 撮影:梅沢賢治氏



昭和55年頃 提供:麻生区写真アーカイブ

写真奥は、工事中的新百合ヶ丘駅南口前

ビルが建つ前の新百合ヶ丘駅南口前



昭和59年頃 提供:麻生区写真アーカイブ

現在の新百合ヶ丘駅南口前



令和6年

interview

昭和35(1960)年に百合ヶ丘駅ができ、昭和49(1974)年に新百合ヶ丘駅ができるまでは買い物は百合ヶ丘駅の方に行っていました。開業当時、新百合ヶ丘駅周辺は農地が広がっており、その後、地権者たちが協力して、貴重な緑を守り農地を残しながら都市をつくるという都市開発を市

民や行政とともに進めた結果、今は統一感のある街並みになりました。緑豊かで芸術・文化が息づくまち、新百合ヶ丘をさらに発展させていくため、平成30(2018)年に新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムを設立しました。まちの個性と魅力を多くの方に感じていただきたいです。



新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム 代表幹事 中島眞一さん

多摩区

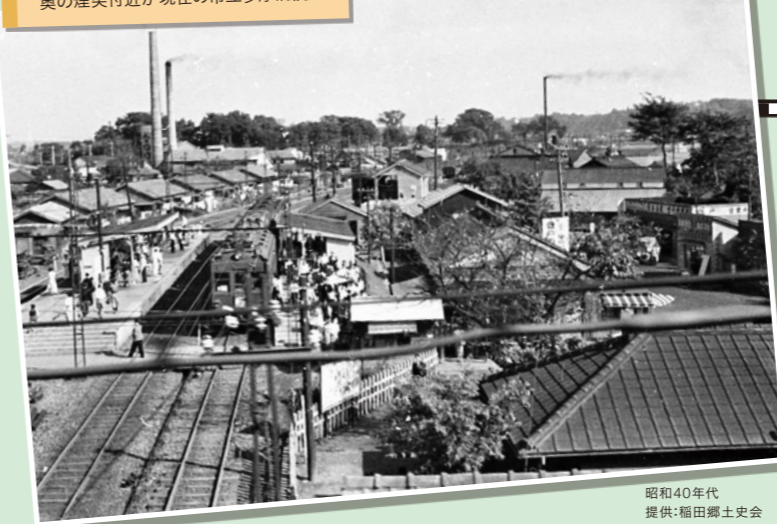
登戸駅・向ヶ丘遊園駅

かつての稲田村、生田村そして向ヶ丘村の一部が現在の多摩区です。緑豊かな生田緑地には、「岡本太郎美術館」や、「日本民家園」、「かわさき^{そら}と緑の科学館」、「川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム」と、個性豊かな文化・教育施設が点在し、市内有数の観光名所となっています。

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区では、安全で快適な暮らしを支える

都市基盤整備などのため、昭和63(1988)年から登戸土地区画整理事業に取り組み、令和7(2025)年度の移転・基盤整備の完了を目指しています。交通の利便性の高さや自然環境、文化施設などのまちのポテンシャルと民間活力を生かした魅力的な拠点となるよう取り組みを進めています。

左が登戸駅 奥の煙突付近が現在の市立多摩病院



昭和40年代 提供:稲田郷土史会

登戸駅構内から商店街を望む 国鉄が分割民営化された直後の様子



昭和62年 提供:稲田郷土史会

当時のにぎわいのある商店街



平成12年 提供:稲田郷土史会

向ヶ丘遊園

昭和46年 提供:川崎市市民ミュージアム



平成12年 提供:稲田郷土史会

向ヶ丘遊園駅

登戸駅の橋上化



平成17年 提供:稲田郷土史会

現在のJR登戸駅



令和6年

interview

登戸駅から二ヶ領用水にかかる小泉橋までの地域は津久井道の宿場町でした。津久井道は曲がりくねっていて狭くて不便でしたが、駅周辺の整備によりまちの様子は大きく変わりました。登戸駅は乗換え駅として利用者が多く、地域一帯の

整備が進んでいますが住宅街の近くに自然も多く残されて、住みやすい地域です。向ヶ丘遊園駅は、マンサード屋根が特徴的です。当時は、向ヶ丘遊園へのモノレールも通っており、にぎわいのあるエリアでした。



稲田郷土史会 会長 鶴見邦男さん



稲田郷土史会 理事 平林勤さん

かわさきトリビア



日本 1 古い甘柿と言われている 「禅寺丸柿」

禅寺丸柿は、鎌倉時代前期の1214年に現在の麻生区王禅寺の山中で発見された、日本最古の甘柿と言われている。近隣地域では栽培が盛んに行われるようになり、「柿生」の地名の元となりました。小ぶりで甘く、種が大きいのが特徴で、今でも地域の宝として愛されています。

市内に音楽大学が2校ある都市は 日本で 1 っだけ

川崎市には「昭和音楽大学」と「洗足学園音楽大学」という2つの音楽大学があります。市内に音楽大学が複数あるのは、川崎市が国内唯一！また、音楽関係学科の学生数を調査したデータによると、令和4年度は全国に15,932人、川崎市内に3,687人が在籍していることが分かりました。つまり、大学で音楽を学ぶ学生の約23%が川崎市内の在籍生ということ。今日も「音楽のまち・かわさき」から未来を奏でる人材が育っているのです。



世界 1 短い！ 「プチエレーター」

JR川崎駅東口すぐの川崎モアーズ地下2階にあるエスカレーターは、高さ83.4cm、段数わずか5段、所要時間はたった8秒というから驚き！「世界一短いエスカレーター」として、ギネスブック91年版で認定されています。



全国で 1 番はじめて女性消防士が誕生

1969年2月に4人、さらに4月に8人、合計12人の女性消防士が誕生しました。女性消防士の採用は全国初！火災予防広報などに尽力する彼女たちの姿は、大きな話題となりました。

愛称は「ナックル姫」 日本で 1 番目の女性プロ野球選手

2008年、県立川崎北高等学校の2年生だった吉田えりさんが関西独立リーグの神戸9クルーズからドラフト指名され、史上初の女性プロ野球選手に！ナックルボールを武器に活躍する姿は各メディアで注目を集め、女子野球の発展にも貢献しました。現在、吉田選手はエイジェック女子硬式野球部にコーチ兼任選手として所属し、選手としてはもちろん、女子野球の普及活動にも尽力しています。



大正時代の様子 提供：三宅俊彦氏

かつて東洋 1 と称された 「新鶴見操車場」

JR横須賀線新川崎駅に隣接する広大なエリアには、かつて東洋一と称された新鶴見操車場がありました。車両の行き先を変更するための場所で、日本三大操車場のひとつとして、最盛期には1日約5,000両もの車両を操車したと言われています。



上空から撮影 昭和56年(1981年)

日本で 1 番目の途中駅「川崎駅」

日本の鉄道は1872年9月に新橋～横浜間を結んで開業したのが始まりですが、実はそれより前の5月に品川～横浜間が仮開業していました。それから約1カ月後、日本初の途中駅として設置されたのが川崎駅。なんと、鉄道が開業する前からの古い歴史があったんです。



IBM Quantum System One「Kawasaki」
出典：日本アイ・ビー・エム株式会社

アジアで 1 台目のゲート型商用 量子コンピューター「Kawasaki」

「新川崎・創造のもり」には、世界最先端の量子コンピューターが設置されています。将来、創業や新素材、物流など、あらゆる分野でイノベーションを起こす可能性を秘めており、未来をつくる力として期待されています。

いくつ知ってる？
1
かわさきの

実は、川崎にはさまざまなジャンルのナンバーワンやオンリーワンがあるんです。私たちの身近にあるものから歴史や文化を感じさせるものまで、川崎のいろんな「1」を紹介します。

第 1 回人間国宝に 認定された 「世界のハマダ」

素朴な味わいが魅力の益子焼。その芸術性を高め、益子の名を世界に広めた陶芸家・濱田庄司は、高津区の溝口出身。1955年に第1回の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定され、1968年には、陶芸家として3人目となる文化勲章を受けました。



地輪鉄絵方瓶(じくすりてつえほうへい)



国産の蓄音機第 1 号！ 「ニッポノホン」

「ニッポノホン」は、1910年4月に日米蓄音機製造(現在の「デノン」ブランド オーディオのルーツの一つ)から発売された国産蓄音機の第1号です。朝顔型のラッパがついており、全4種類発売されました。販売価格は、当時の平均月収と並ぶ35円(機種によって25～50円)！とても高価なものだったことがわかります。

工芸品の国宝指定第 1 号！

あきくさもんつぼ 「秋草文壺」

かつて南加瀬にあった川崎市最大の前方後円墳・白山古墳から発見されたこの壺には、ススキ、ウリ、柳やトンボなど、日本の秋の風情が伸びやかに表現されています。陶磁史上貴重な品として、1953年に国宝に指定され、現在は東京国立博物館で展示公開されています。



慶応義塾蔵

「へえ、そうなんだ！」と思わず言ってしまうようなトリビアが大集合。毎日暮らしているのに知らなかった、意外なまちの一面を再発見できるかも！

この場所で名シーンが生まれた!? 有名作品の聖地がいっぱい

「映像のまち」としても親しまれる川崎市。にぎやかな商店街や豊かな自然、味のある工場地帯など、さまざまな顔を持ち、市内の各所でドラマや映画のロケが行われています。公共施設で撮影が行われたものに限っても、年間100件前後の作品が!



「相棒 season22」(2023)

出演者:水谷豊、寺脇康文 他
ロケ地:川崎マリエン



「ゆとりですがなにか インターナショナル」(2023)

出演者:岡田将生、松坂桃李、柳楽優弥 他
ロケ地:市役所第4庁舎



「オールドルーキー」(2022)

出演者:綾野剛 他
ロケ地:麻生区役所



「日本沈没-希望のひと-」(2021)

出演者:小栗旬、松山ケンイチ、杏、仲村トオル 他
ロケ地:川崎市産業振興会館、川崎競馬場、川崎市国際交流センター



「シン・ゴジラ」(2016)

出演者:長谷川博己、竹野内豊、石原さとみ 他
ロケ地:市役所旧本庁舎、市役所第3庁舎

その他の作品

シン・仮面ライダー(2023)
ロケ地:多摩川スカイブリッジ、港湾用地、他川崎市内

逃げるは恥だが役に立つ
ガンバレ人類! 新春スペシャル(2021)
ロケ地:川崎市産業振興会館

絶対零度~未然犯罪潜入捜査~(2020)
ロケ地:市役所第3庁舎

翔んで埼玉(2019)
ロケ地:恩廻公園調節池

中学聖日記(2018)
ロケ地:市立多摩病院

刑事7人 Season3(2017)
ロケ地:川崎マリエン

ドクターX~外科医・大門未知子~(2012)
ロケ地:市立川崎病院

デスノート the last name(2006)
ロケ地:市役所旧本庁舎

白い巨塔(2003)
ロケ地:川崎市民プラザ、市立井田病院

ドラマや映画だけでなく アニメの中にも川崎市!

武蔵小杉駅周辺がモデルのまち「ムサコ」が登場する「デジモンアドベンチャー:」や、川崎が舞台の「ガールズ バンド クライ」など、市内の風景が使われているアニメも多数。実際のランドマークがリアルに描かれているので、アニメに登場した場所を探しに、まちへ出掛けてみるのもおすすめです。



©東映アニメーション

◀アニメ「デジモンアドベンチャー:」
Amazonプライムビデオ「東映アニメチャンネル」にて配信中
©本郷あきよし・フジテレビ・東映アニメーション

アニメ「ガールズ バンド クライ」▶
TOKYO MX、BS11、サンテレビ、KBS京都にて2024年4月5日より毎週金曜日放送



©東映アニメーション

日本でただ1つの映画単科大学が川崎に!

1970年代、低迷した日本映画の難局を乗り切るため、映画会社は撮影所を縮小し、映画界は人材育成する場を失い憂っていました。1975年、後にカンヌ国際映画祭パルムドールを2度受賞した映画監督今村昌平は、未来の映画人材を育成するため、横浜放送映画専門学院を設立。これが日本映画大学の源流です。1986

年に麻生区に移り、専門学校日本映画学校に改称し、2011年、新百合ヶ丘及び白山キャンパス、撮影スタジオ(今村昌平記念スタジオ)を有する日本映画大学が開学しました。映画・映像業界に多くの卒業生を輩出している、日本で唯一の映画単科大学です。

実は…かわさきに がある!?

えっ?川崎にこんなものがあったんだ!

長年、地元に住んでいる人も驚くようなユニークなスポットやモノをご紹介します。実際に足を運んでみれば、そこでしかできない体験やおいしさに出会えるはずです。



1~6月



イチゴ

「紅ほっぺ」「おいこべり」「よつぼし」など、数種類を食べ比べできる観光農園がいっぱい!

6~8月



ブルーベリー

木が低く、小さな子どもでも摘み取りやすいため、家族みんなでワイワイ楽しめます。

8~9月



ブドウ

「巨峰」「シャインマスカット」や県内で誕生した「藤稔(ふじみのり)」などが栽培されています。

8~9月



梨

川崎の名産の一つとして親しまれる「多摩川梨」。 「幸水」「豊水」「あきづき」などの品種が人気です。

東京ドーム約109個分の農地がある!? 観光農園で楽しく収穫体験♪

住宅街の中に突如あらわれる畑や田んぼ。そんな風景を見たことはありませんか? 意外にも、川崎では農業が盛ん。野菜や果物、花などさまざまな農産物が栽培されていて、農地の総面積は約510ha。なんと、東京ドーム約109個分にもなります! 市内で生産された農産物「かわさきそだち」はJAセレサ川崎の農産物直売所などで買える他、市内に20以上ある観光農園で自分の手で収穫して食べることもできます。

9~10月



サツマイモ

まるで宝探しのようなワクワク感! 大きな芋を見つけた時の喜びはひとしおです。

10~11月



柿

「富有」「次郎」をはじめ、秋の日差しを浴びて熟したジューシーな柿を収穫できます。

11~12月



パンジー・ビオラ

中原区小田中地区は県内有数の生産地。昔ながらの地堀り栽培で育てられています。

12~1月



ミカン

神奈川県はミカンの生産地としても有名ですが、実は川崎市でもミカン狩りが楽しめます。



知る人ぞ知る、地下鉄のような貨物線

静かな夜に耳をすませると、かすかな音が聞こえることが。その正体は貨物線で、武蔵小杉駅付近からトンネルに入り、中原区、高津区、宮前区、多摩区、麻生区を走行しています。私たちの生活を支える重要な路線です。

地下を走る旅客鉄道も、近い将来開通する計画が! 横浜市営地下鉄ブルーライン[あざみ野~新百合ヶ丘区間]の延伸に向けた取り組みが進んでいます。



遺跡の数は600以上! 足元に広がる歴史ロマン

市内で旧石器時代から江戸時代まで600カ所以上の遺跡が見つまっている川崎市。その中でも、特に注目されているのが川崎市初の国史跡に指定された「橘樹官衙(たちばなかんが)遺跡群」です。今から約1,300年以上も昔の役所跡で、税である稲を納めた倉庫などが発見されています。この一部が2024年春、全国初となる飛鳥時代の倉庫を復元した歴史公園としてオープン!

行ってみたい！ やってみたい！

川崎の12カ月

季節の行事、食、自然など、川崎のまちには一年を通じてさまざまな楽しみがいっぱい。これを読めば、新しい発見があるかもしれません。春夏秋冬それぞれの魅力と出合いに、あなたもお出掛けしてみませんか？

January 1月

1年の幸を願って
初日の出を見に行こう



川崎マリエン (川崎区)
地上51mにある展望室で「初日の出鑑賞会」(抽選)を毎年実施しています。360度のパノラマビューで見る初日の出は絶景！

車で5分の距離
2カ所回ってみる!?



東扇島東公園 (川崎区)
栈橋の先端やみさき広場から、オレンジ色に輝く御来光とともに、東京湾に浮かぶタンカーやアクアラインを一望できます。

振り返ると
朝焼けに染まる
富士山の姿も！



多摩川スカイブリッジ (川崎区)
川崎から羽田へ歩いて渡れる全長約675mの橋。羽田空港に離着陸する飛行機と初日の出のコラボレーションは必見！



多摩川河川敷
朝夕のランニングやお散歩コースとして人気の河川敷は、人も少なめでゆったりと眺めたい方にピッタリ！写真は二子橋付近。

February 2月

春うらら、梅が見頃

御幸公園(幸区)
公園がある小向地区は明治天皇も訪れた梅の名所。梅の開花の時期に併せて開催される「観梅会」では、野だてなどのイベントも楽しめます。



一緒に持って
いきたい

「新岩城菓子舗」の
かおり梅
梅の甘露煮を白餡で包んだ甘酸っぱい桃山の焼き菓子です。

「御菓子司 吉田屋」の
みゆきの梅
梅の甘露漬の酸味としっとりとした黄身餡がよく合います。

「御菓子司 花久屋」の
梅どら
梅を練り込んだ求肥とあんこを包んだもちもち食感のどら焼きです。



2/23 工場夜景の日
平成23(2011)年のこの日に、川崎市で第1回全国工場夜景サミットが開催されたことを記念して制定。昼は梅、夜は夜景に癒やされよう。

April 4月

川面を染める桜のトンネル
二ヶ領用水の桜並木
水と緑の遊歩道として人気の二ヶ領用水沿いは、川崎屈指の桜の名所。早咲きの河津桜やソメイヨシノなど、さまざまな種類の桜を楽しむことができます。



March 3月

かつての桃源郷に
思いをはせながら
桃の和菓子を
食べ歩き



かつて中原区は桃の名産地で、区民の皆さんからも公募で桃の木が「区の木」に選ばれるほど、古くから親しまれてきました。明治から昭和初期まで盛んに栽培されていた「多摩川桃(中原の桃)」は非常に美味で有名だったとか。そんな桃の里の歴史を伝えていこうと「二ヶ領用水・中原桃の会」が植樹や管理に取り組んでいる他、この季節はJAセレス川崎花井部馬絹支部の生産者が大切に育てた観賞用の花桃が全国各地に出荷されます。

宮前区馬絹の花桃

枝を折らずに束ねる「しおり」の技術と、温かく湿度のある「室」と呼ばれる部屋で開花調整を行い、三分咲きになったところで出荷する匠の技は、馬絹の若い生産者に引き継がれています。全国的にも高く評価されている馬絹の花桃は、「第72回関東東海花の展覧会」では、最高位の農林水産大臣賞を2年連続受賞しています。



中原区の和菓子のお店・6店舗で「桃の彩」という桃にちなんだお菓子を販売しています。果肉をちりばめたマドレーヌや餡に練り込んだものなど、各店の個性豊かな味わいが評判です。※販売時期などは各店舗により異なります。

桃の彩 momo no irodori



5月

May

5/20は「世界ミツバチの日」
採れたてのはちみつを
探しに行かない？

千年蜂の会
ちとせ
高津区で20年ほど前から養蜂を行
う「千年蜂の会」の柏木さん。春
の花を食べたかのような華やかな
香りが魅力のはちみつは、「JAセ
レサ川崎の大型農産物直売所」で
「レサモス」で購入できます。



県立川崎高校養蜂部
ミツバチが住みやすい花いっぱい
の川崎にしたいと活動する県内
唯一の養蜂部。収穫したはちみつ
は文化祭で販売することもある
他、地元の和菓子店「東照」の
どら焼きにも使われています。



等覚院
（宮前区）
約2,000株の
ツツジが植えられ
ている通称「つつ
じ寺」。色鮮やかな
ツツジで埋め尽く
される様は見事
です。

**生田緑地
ばら苑**
（多摩区）
およそ800種
3,300株のバラ
が開花する春の
ばら苑。この時期
は多種多様なつる
バラがいっせいに
咲き誇ります。

**ツツジや
バラも
5月が見頃！**



6月

June

金運アップ!?
家でも外でも
アジサイを楽しもう

6月の6のつく日（6日、16日、26日）にアジサイ
を逆さまにするすと、金運を招くというおまじ
ないもあるそうです。玄関やリビングにお花があれ
ば雨の日が続いても、パッと心も晴れるよう。明る
い気分の後押しされて、アジサイの名所へひと足伸
ばすのもいいですね。



長尾山妙楽寺（多摩区）
青、紫、薄紅色、白色など28種類約1,000
株のアジサイが境内を埋め尽くす、通称
「あじさい寺」と呼ばれる川崎屈指のアジ
サイの名所。毎年6月の第3日曜日の父の日
には「長尾の里あじさいまつり」が開催さ
れ、たくさんのお客でにぎわいます。

ユニークな
表情の羅漢さま
がいっぱい



浄慶寺（麻生区）
1,000株を超えるアジサイ
が咲き乱れる麻生の「あじさい
寺」。境内にはほつこりするよ
うな羅漢石像が設置され、そ
ちらも見どころ。腕相撲をし
たり、将棋をさしたり、いろ
んな羅漢さまに出会えます。

7月

July

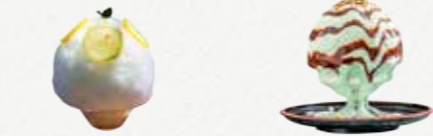
風鈴市のにぎわいを
楽しんだあとは
かき氷屋さん巡り

暑い夏はかき氷を食べて、
体の中からクールダウン！
味も、見た目も、年々進化
している川崎のかき氷を
ピックアップしました。

夏小屋 氷楽氷楽（中原区）
7/1~9/30だけの夏季限定店舗。
極限まで薄く削ったふわふわ氷
に、自家製の蜜がたっぷり。



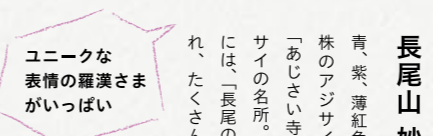
白熊堂（川崎区）
冬の寒さだけで凍らせた「天然
氷」と「季節の素材」を使用した、
ふわっとやさしいおいしさ。
川崎生まれの「香辛子」を使っ
た冷たいのにホットな一品も。



**かき氷 SETOUCHI
HIDAMARI KAKI-GORI**
（宮前区）
瀬戸内の農家から届く旬の
果実をたっぷり使った天然
果実蜜がおいしさの決め手。



不思議なかき氷
川崎競売ランド駅前店
（多摩区）
楽しい見た目にもこだわったか
き氷は、さっぱりとしたヨーグル
トベースで飽きのこない味わい。



川崎大師 風鈴市

（川崎区）

全国47都道府県の風
鈴、800種類2万個
が一堂に集まる夏の風
物詩。参詣する皆さん
に全国の風鈴の音色を
聞いてほしいという思
いでスタートした風鈴
市では、「踊り練り込
み」などのイベントも
開催され、多くの観光
客でにぎわいます。心
地よく響く風鈴の涼や
かな音色に、夏の暑さ
をいっと忘れられる
かもしれません。



7/1 市制記念日
大正13（1924）年
7月1日に市制が施行
されました。この日は、
まちがお祝いムードに
包まれます。

7/1 ミューザの日
ミューザ川崎シンフォ
ニーホールの開館記念
日。毎年、楽しいイベン
トやオーケストラコン
サートが開催されます。

令和6（2024）年は
市制100周年！

平成18（2006）年に
オープン！

8月

August

各地で盆踊りや
夏祭りが開催
浴衣でお出掛け
してみよう

8月の風物詩といえば、市内の盆踊り大会
でもおなじみ、都はるみさんが歌う「川崎
おどり」です。川崎市が政令指定都市に移
行したことを記念して、制作されました。
この時期は、お祭りを盛り上げるアップテ
ンポの明るい曲調が、まちのあちこちで聞
こえてきます。せっかくなので浴衣を着て
お出掛けを楽しむのもおすすめ。ますます
夏らしさを味わえること請け合いです！



川崎山王祭（川崎区）
江戸時代には「東の祇園」とも
呼ばれ、今でも盛大に行わ
れる稲毛神社の伝統あるお
祭り。境内には露店が立ち
並び、最終日には男女2基
の宮神輿が23町内を練り歩
いて祭りを盛り上げます。

丸子山王祭（中原区）
8月13日から15日まで行わ
れる丸子山王日枝神社の例
大祭。15日に9町会を巡幸
する大神輿渡御の元気なみ
こし振りや、各町内会の有志
による奉納演奏会、色とり
どりの装束を着て雅楽器を
吹く行列などが見どころ。



CITTA'S 夏祭り
（川崎区）
川崎駅前の複合商業施設
「ラ・テッタテッラ」恒例の
夏イベント。世界各国の屋
台グルメをはじめ、射的や
ヨーヨー釣りといった日本
の夏祭り定番の遊戯、エン
タメショーなどで夏の夜を
パワフルに盛り上げます！
今年は何んなイベントが開
催されるのかお楽しみに。

December 12月



まちが光り輝く イルミネーションの季節

ブレイメン通り (中原区)
ホリデーシーズンはモトスミ・ブレイメン通り商店街のシンボルでもある、ブレイメンの音楽隊像がサンタクロース姿に大変身！真っ赤な衣装を着たかわいい4匹の動物たちが、いつもにもましてメルヘンチックな雰囲気。さらに、商店街の全長約550mにわたってイルミネーションがまばゆくきらめき、クリスマスモードたっぷりになり、楽しく盛り上げます。

ラチッタデッラ (川崎区)
イタリアのヒルトウンがモチーフの異国情緒あふれる街並みを背景に、美しいウインターイルミネーションを開催。メインストリートのチネチッタ通りや植栽にちりばめられた華やかな装飾とやさしい光がチッタの冬を彩ります。



新百合ヶ丘 (麻生区)
新百合ヶ丘駅南口のメインツリーをはじめ、オリブ並木や新百合ヶ丘マブレ、駅北口の樹木などに、それぞれテーマをもったイルミネーションが施され、「しんゆり・やかにライトアップ。「しんゆり・芸術のまち」が光の世界に包まれます。



川崎市制記念多摩川花火大会



©(一社)川崎市観光協会

昭和4(1929)年にスタートした歴史ある花火大会。毎年、スターメインや音楽と花火のコラボレーション「ハナビリユージョン」などで人気を集めています。令和6(2024)年は市制100周年に合わせて約1万発の花火で例年以上に華やかに！

October 10月

10/10「銭湯の日」は スポ銭にチャレンジ!



越の湯(幸区) 千年温泉(高津区) 丸子温泉(中原区) 小松湯(川崎区) 松葉浴場(麻生区) 宿原浴場(多摩区)

川崎浴場組合連合会では、「スポーツ×銭湯」をテーマに、「スポ銭」というユニークな取り組みを進めています。銭湯をスポーツステーションとして利用できるサービスで、銭湯に荷物を預けてランニングやウォーキング、サッカーなどを楽しんだ後は、広い湯船で体も心もリラックス！疲れをゆったりと癒やせます。川崎には31カ所の銭湯があるので、きっとお気に入りの銭湯が見つかるはず。スポーツの秋にぜひ、日頃の運動不足の解消を！

September 9月

秋の花・菊を お菓子やお酒で楽しみながら 「敬老の日」をお祝い!



菊の花が見頃を迎える季節です。日本の国花としても親しまれる菊は、無病息災や長寿を願う意味をもつ縁起のいい花。「すつと元気でいてほしい！」という思いを込めて、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に、菊の花やお菓子を楽しむのもおすすめです。

かわさきマイスター 大澤忍さん(中原区)



余計な添加物は使わず、一つ一つ丁寧に仕上げた和菓子を通して季節を届ける「御菓子所 花しろも」の大澤さん。和菓子研究団体の上生菓子コンテストで3年連続最優秀賞にも選ばれています。



大澤さんがつくった美しい練り切り「姫菊」



菊酒

9月9日は菊の節句とも呼ばれる重陽の節句。古来、菊は不老長寿の薬と信じられていたことから、9月9日には「菊酒」を飲む風習があります。よく洗った食用菊を日本酒に浮かべ、菊の芳香とともに季節を愛でるのも風流です。

November 11月

川崎の魅力が詰まった 「川崎祭」開催! 岡上ヌーボーの解禁も

令和5(2023)年11月5日に初開催。川崎を好きになってもらいたいイベント「みんなの川崎祭」が今年も秋を盛り上げます!(10月末~11月初旬に開催予定)
市制100周年を契機としたチャレンジで、市役所通りの車道を一時的に歩行者空間にして、川崎で活躍する人や市民による音楽・スポーツ・アートなどのステージを開催。また、みどりを身近に感じるスペースを提供するなど、居心地がよくウォーカーフレンドなまちを体験できます。



市役所通りのイチヨウの黄葉

川崎区の「区の木」イチヨウが黄金色に染まる季節。イチヨウの葉の絨毯を踏みながら歩く、秋の深まりを感じます。

岡上ヌーボー

麻生区にぶどう畑があるのをご存知ですか?なんと川崎市初のワイナリーもあるんです。それが、田園風景広がる岡上でブドウの栽培から収穫、醸造まで行っている「カルナエスト 蔵邸ワイナリー」。かわさきそだちワイン特区を活用し、地域の大学とも連携しながら地場産ワイン「岡上ヌーボー」を製造しています。岡上ヌーボーが味わえる11月には、解禁イベントとしてワインの試飲会も実施。都市農業の可能性が詰まった一杯、ぜひ味わってみてください。



溝口駅前キラリデッキ (高津区)

田筒広場を中心としたキラリデッキ全体に、再生可能エネルギー100%の電力を使用して輝く20数万球のLEDが人の動線に沿うように広がり、多彩な演出で目を惹きつけてくれます。イルミネーション点灯式ではさまざまなイベントも開催。



新百合ヶ丘 (麻生区)

新百合ヶ丘駅南口のメインツリーをはじめ、オリブ並木や新百合ヶ丘マブレ、駅北口の樹木などに、それぞれテーマをもったイルミネーションが施され、「しんゆり・やかにライトアップ。「しんゆり・芸術のまち」が光の世界に包まれます。



平成23(2011)年
9月3日に開館!

©Fujiko-Pro

川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム (多摩区)
9月3日は川崎市藤子・F・不二雄ミュージアムの開館記念日!そして、実はドラえもんのお誕生日でもあるんです。毎年国内外から多くのファンが来館。夢、希望、友情あふれる作品の世界に触れて、大人も子どもも笑顔になれる1日を過ごせます。